

テンプレートDNAの準備方法について (培養液からの熱抽出)

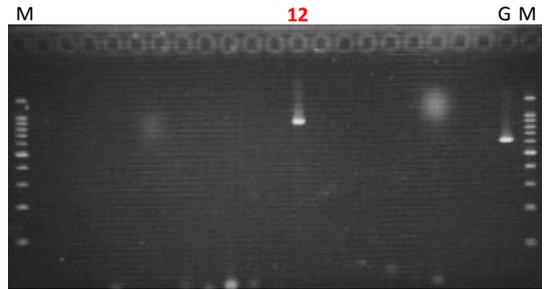
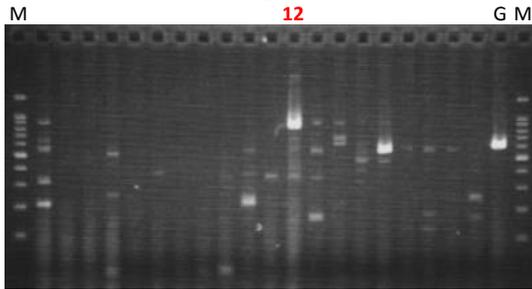
【前プロトコールで示した調整方法】

- ・培養液 (LB, 一晚) **1,000 μ l** を 10,000 g \times 10 分間 遠心
- ・上清を除去した後に TE バッファー **250 μ l** を加えて懸濁
- ・100 $^{\circ}$ C - 10 分間 熱処理
- ・10,000 g \times 10 分間 遠心後、上清を使用
《培養液から4倍濃縮》

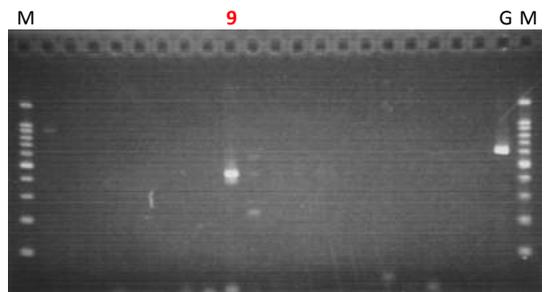
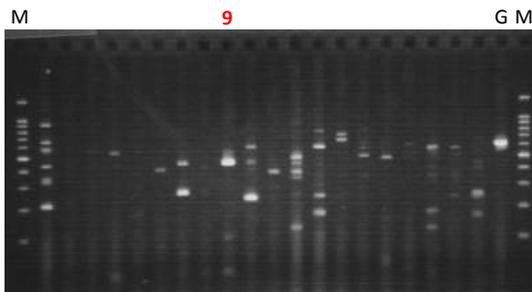
- ・培養液 (LB, 一晚) **100 μ l** を 10,000 g \times 10 分間 遠心
- ・上清を除去した後に TE バッファー **1,000 μ l** を加えて懸濁
- ・100 $^{\circ}$ C - 10 分間 熱処理
- ・10,000 g \times 10 分間 遠心後、上清を使用
《培養液から10倍希釈》



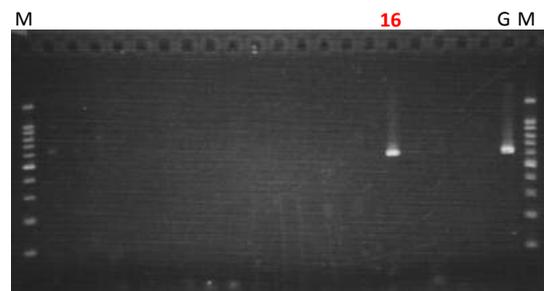
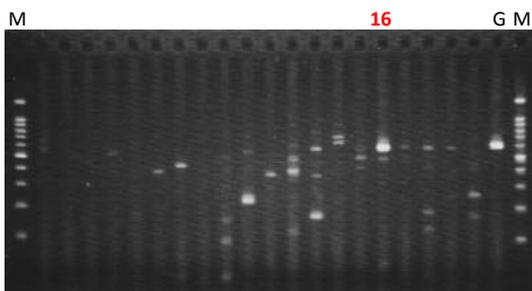
16QC1



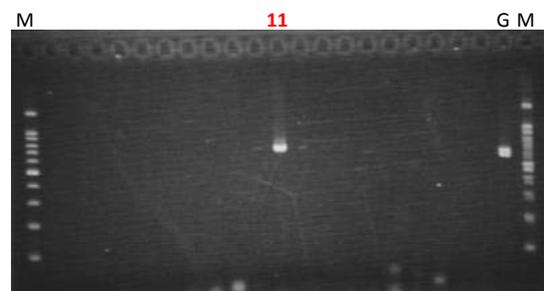
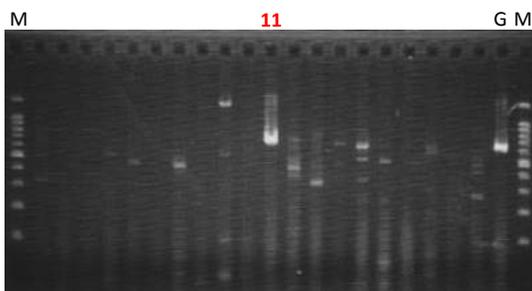
16QC2



16QC3



16QC4



濃度が高いと
たくさんのバンドが出現する

5~20倍希釈が適している

テンプレートDNAの準備方法について (アルカリ熱抽出)

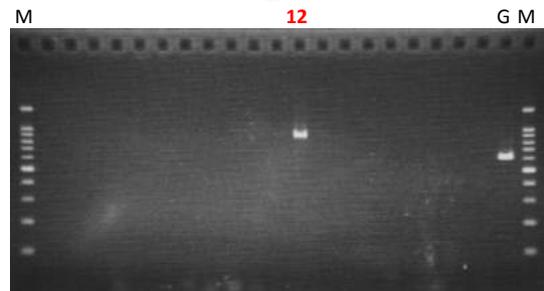
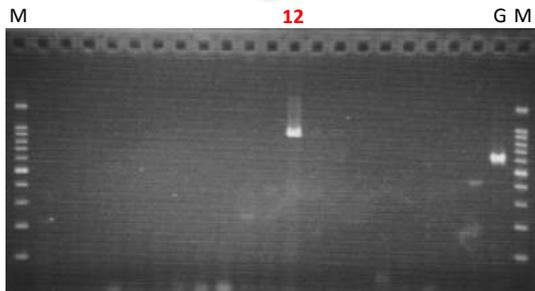
【前プロトコールで示した調整方法】

- ・培養液 (LB, 一晚) **200 μ l** を 10,000 g \times 10 分間 遠心
- ・上清を除去した後に 50mM NaOH **170 μ l** を加えて懸濁
- ・100 $^{\circ}$ C - 10 分間 熱処理
- ・1M Tris-HCl (pH 7.0) **30 μ l** を添加
- ・10,000 g \times 10 分間 遠心後、上清を使用
《培養液と同じ濃度》

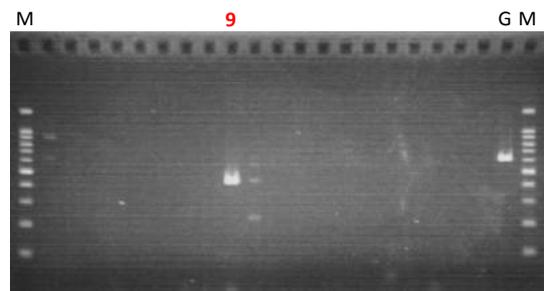
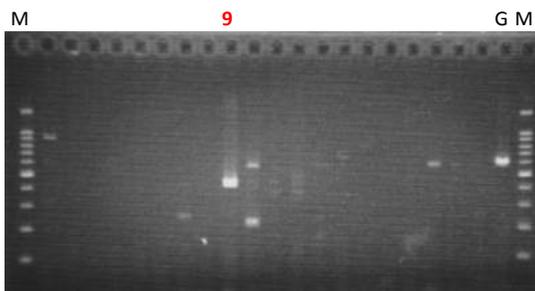
- ・培養液 (LB, 一晚) **200 μ l** を 10,000 g \times 10 分間 遠心
- ・上清を除去した後に 50mM NaOH **170 μ l** を加えて懸濁
- ・100 $^{\circ}$ C - 10 分間 熱処理
- ・1M Tris-HCl (pH 7.0) **30 μ l** を添加
- ・10,000 g \times 10 分間 遠心、
- ・上清 100 μ l に TE バッファー 400 μ l を加えて使用
《培養液から 5 倍希釈》



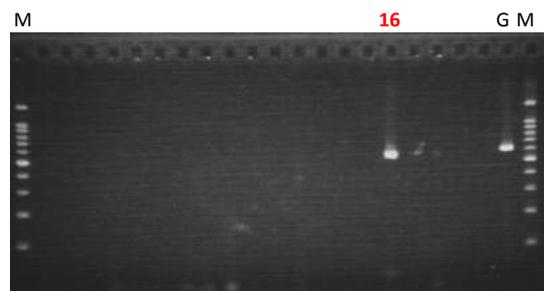
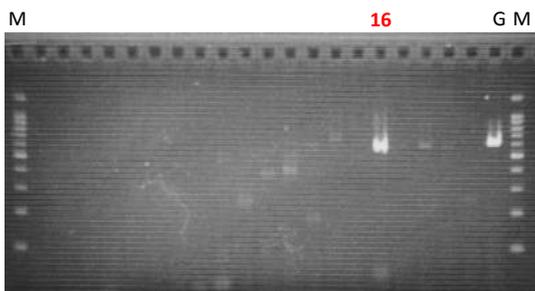
16QC1



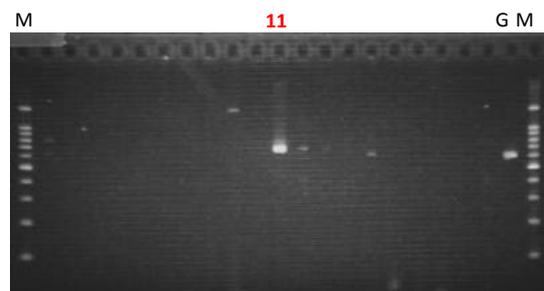
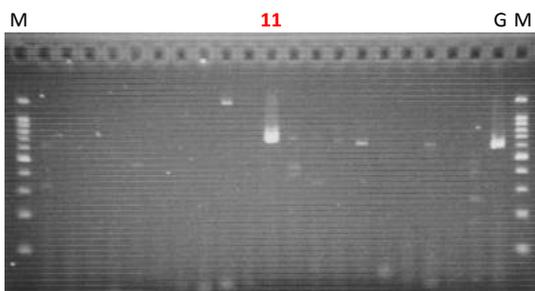
16QC2



16QC3



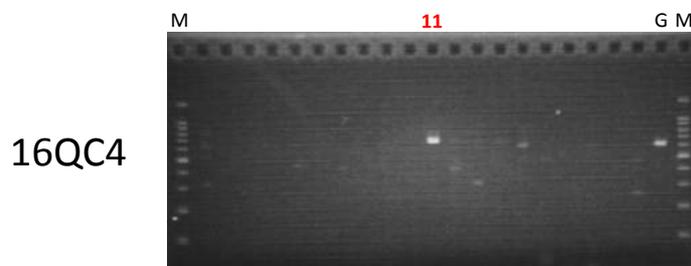
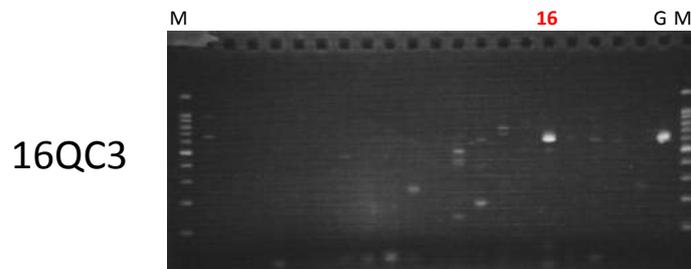
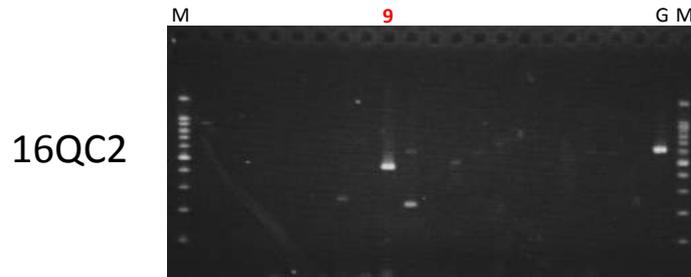
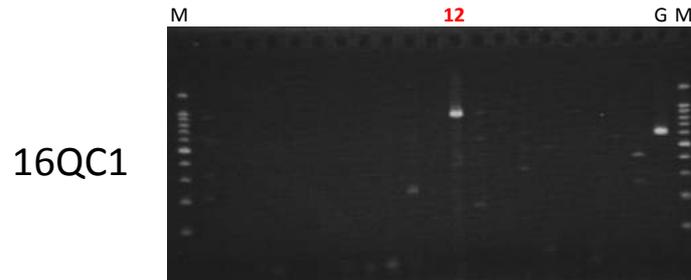
16QC4



5~20倍希釈が適している

テンプレートDNAの準備方法について (コロニーからの熱抽出)

- ・寒天平板上に生育したコロニー(2-3 mm)をTEバッファー200 μ lに懸濁
- ・100 $^{\circ}$ C - 10分間 熱処理
- ・10,000 g \times 10分間 遠心後、上清を使用



1コロニー / 200~500 μ lが適している